

ヒメケシゲンゴロウ

Hyphyrus laeviventris Sharp

コウチュウ目ゲンゴロウ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

選定理由

全国的に生息地は局所的で個体数も少ない。県内では能登北部で確認されているにすぎない。

形態

体長4.3~5.0mm、体型は短卵形。背面は暗黄赤褐色で、光沢はやや強い。一般に暗色部が強く、かなり黒っぽく見える。触角、口枝、肢は黄赤褐色。同属のケシゲンゴロウ *H. japonicus* に比べ、かなり黒っぽく、点刻が粗い。幼虫はやや扁平な、いも虫状。

国内分布

本州、四国、九州。

県内分布

能登北部に局所的に分布する。

生態

成虫は5~11月に確認されている。幼虫は比較的水深のある場所にも生息する。

生息地の条件

平野部~丘陵部の池沼、放棄水田などの止水域。

生存の危機

池沼、湿地の開発による消失、ため池の管理放棄、水質汚染、放棄水田の植生遷移、外来魚が大きな脅威となっている。県内の生息地では、ため池2箇所におオクチバスが侵入したために、駆除が行われた。ため池の維持管理の継続、放棄水田の湛水化などの保全策が必要である。(A, B, C)

参考文献

森 正人・北山 昭 2002. 改訂版図説日本のゲンゴロウ. 文一総合出版. 東京.
川野敬介・中野浩史・林 成多・山内健生 2006. 出雲市平田地域のため池生物調査(2) 止水性水生昆虫類の生息状況. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 13-37.



標本提供者: 西原昇吾

分布図はありません。

県内の分布